



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月12日

上場会社名 株式会社CSSホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2304 URL <http://www.css-holdings.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 克裕
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 茂路 岳廣 TEL 03-6661-7840
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	15,337	6.2	613	△0.0	625	△1.8	410	11.1
2025年9月期第3四半期	14,447	8.6	613	1.3	636	1.4	369	△6.3

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 460百万円 (8.2%) 2025年9月期第3四半期 425百万円 (2.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	82.79	—
2025年9月期第3四半期	73.71	73.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	6,516	3,327	51.1
2025年9月期	6,317	3,089	48.9

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 3,327百万円 2025年9月期 3,089百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	15.00	—	30.00	45.00
2026年9月期	—	15.00	—		
2026年9月期（予想）				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,200	3.6	800	11.5	800	7.8	590	0.5	117.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	5,285,600株	2025年9月期	5,285,600株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	324,708株	2025年9月期	350,008株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	4,953,663株	2025年9月期3Q	5,010,207株

期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式 (2026年9月期3Q 125,600株、2025年9月期末125,600株) が含まれております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。(2026年9月期3Q 125,600株、2025年9月期3Q 125,600株)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人の四半期レビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている今後の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期の経営成績に関する説明	2
(2) 当四半期の財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期の経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中東情勢の悪化をはじめとする地政学的リスクの高まりや原材料・労務費の高騰の影響など先行き不透明な状況が続く中、企業努力や各種政策の効果もあり、雇用・所得環境が改善する中で、緩やかに回復してまいりました。原油高に伴う世界景気の下押しや航空運賃の高騰に伴い訪日インバウンド動向が懸念材料となるものの、観光業界の依然とした好況により堅調に推移しております。

このような環境下において当社グループは、前年度から第5期となる新たな3ヵ年中長期経営計画をスタート、2024年12月には「2025-27中期経営計画 “Go Beyond! Next20”」を発表いたしました。2027年9月期の連結業績目標を売上高270億円、営業利益9.5億円、ROE15%以上とし、『資本効率を高める投資の強化』をテーマに、事業開発戦略として、既存事業組織における基盤強化と収益力の向上と、新たな提供価値の創造をミッションとするXvalueユニットの活動を、相互に関係しながらも独立して二軸で成果を追求することを掲げています。

2年目の年度となる当第3四半期連結累計期間は、各事業セグメントを取り巻く収益環境が厳しくなっていく中、総じて計画通りの推移となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は15,337百万円（前年同期比6.2%増）、連結営業利益は613百万円（前年同期比0.0%減）、連結経常利益は625百万円（前年同期比1.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は410百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績の業況は以下のとおりです。

① スチュワード事業

当事業は、ホテル・レストラン・テーマパークを主たるお客様として、食器洗浄をはじめとする厨房管理業務および清掃業務を全国展開する当社グループの中核となるセグメントです。

当第3四半期連結累計期間においては、新規事業所7件を開業いたしました。また、通期では10件の開業を見込んでおります。外資系ブランドを中心に積極的なマーケット参入による大型ホテルの開業は続いており、新規受注に向け積極的な営業活動を行っております。前期より注力中の病院案件は当第3四半期に2件を開業し、通期では3件の開業を見込んでいます。また、既存のお客様との契約更改時には人件費等のコストアップ要因に対してご理解をいただきながら引き続き適正な利益の確保に取り組んでおり、足許の業績は堅調に推移しております。

また、当第3四半期においては、新たにマルチAIエージェントの基幹業務への実装を実現し、現場責任者が担っていた多くの定型業務をAIに委ね、人が最も力を発揮すべきコミュニケーションや指導・教育といった品質に直結する仕事に集中できる環境のサポートをスタートしています。今後も人事・労務分野への導入を進めることで、人が重要な経営資産である当社において、このAI実装を単に省力化・業務削減のレベルに留まらず事業モデルの再構築と捉えて、その提供価値を「労働集約型」から「ホテル運営を支えるインフラ機能」に高めることで収益力を高める取り組みとして注力しております。

この結果、売上高は7,359百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益は579百万円（前年同期比11.7%増）の増収増益となりました。

② フードサービス事業

当事業は、従業員食堂・ホテル内レストラン・高齢者施設等給食運営の受託を全国で展開するセグメントです。

当第3四半期連結累計期間においては、新規事業所14件を開業いたしました。大手のホテルチェーン様での実績が評価され、新たなホテル様をご紹介頂くといった好循環が継続しており、通期では17件の開業見込みと例年にないハイピッチな受注・開業状況となっています。採用、教育や厨房・事務所の設置・配置、業務手順の調整など、その都度全国から得意分野を活かしたヘルプ体制を受けながら、堅実に開業を進めています。

一方で、前期に続き食材価格の高騰に加え、足元では円安や原油価格高騰に伴い使用する衛生関連の備品・消耗品（洗剤やゴム手袋等）の値上がりが顕著となっております。引続き安全安心な衛生管理体制の維持強化に対応すべく、契約更改時にはお客様からのご理解をいただきながら適正な利益の確保に取り組んでまいります。

また、当第3四半期は従業員の昇給・昇格等に伴う人材投資の増強を実施したことに加え、数多くの新規開業対応による一時的なイニシャルコストも増加しました。

この結果、売上高は3,883百万円（前年同期比16.0%増）、営業利益は39百万円（前年同期比55.7%減）となりました。

③空間プロデュース事業

当事業は、映像・音響・放送・セキュリティに関する設計・施工・販売・管理・メンテナンスに加え、BGM及び香りまで提供する空間プロデュース事業としてセグメントを構成いたします。

当第3四半期連結累計期間において、東洋メディアリンクスは引き続き金融機関向けのITV（監視カメラ／Industrial TV）及び周辺装置・業務放送設備・モニター等の新規、更新需要が堅調となりました。足元では、売上・利益が伸びる9月の期末に向けて案件を積上げております。

同じくMood Media Japanは、前期に続きMood Mediaヘッドクォーターとの連携を深め、新規開拓や顧客紹介案件を取り込みながら大口を含む案件の獲得を進めています。

音響特機は、一部の輸入ブランドの変更に伴う既存顧客の剥落を要因に減収減益となりましたが、新たな輸入ブランド商品のラインナップを加えたことにより、営業力を強化し、顧客基盤の拡充に注力しています。引続き東洋メディアリンクスとも連携強化を図りながら、利益率の高い輸入ブランド商品の拡販に注力中です。

この結果、売上高は4,095百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益は196百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に対し、199百万円増加し、6,516百万円となりました。その主因は、受取手形、売掛金及び契約資産96百万円の増加、有価証券49百万円の減少、商品及び製品125百万円の増加、投資有価証券の増加103百万円、繰延税金資産76百万円の減少などによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末に対し、37百万円減少し、3,189百万円となりました。その主因は、支払手形及び買掛金82百万円の増加、短期借入金80百万円の増加、未払消費税等111百万円の減少、未払法人税等108百万円の減少、賞与引当金56百万円の減少、その他流動負債52百万円の増加などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に対し、237百万円増加し、3,327百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における当期の連結業績予想は、2025年11月11日に公表したものから変更ありません。（当該業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。そのため、事業環境をはじめとする様々な要因の変化により、実際の業績はこれと異なる可能性があります。）

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,138,856	1,096,766
受取手形、売掛金及び契約資産	2,140,208	2,236,215
有価証券	49,879	—
商品及び製品	388,876	514,668
仕掛品	19,989	43,974
原材料及び貯蔵品	20,278	22,554
短期貸付金	20,163	20,165
未収入金	6,320	4,359
その他	131,540	132,866
貸倒引当金	△1,697	△1,601
流動資産合計	3,914,416	4,069,969
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	990,737	991,772
減価償却累計額	△634,480	△656,572
建物及び構築物（純額）	356,256	335,199
土地	951,628	951,628
その他	268,561	294,024
減価償却累計額	△203,101	△224,647
その他（純額）	65,460	69,377
有形固定資産合計	1,373,346	1,356,206
無形固定資産		
のれん	6,921	2,129
その他	55,667	104,226
無形固定資産合計	62,589	106,356
投資その他の資産		
投資有価証券	612,760	716,171
繰延税金資産	201,836	125,752
その他	155,941	145,825
貸倒引当金	△3,545	△3,545
投資その他の資産合計	966,992	984,204
固定資産合計	2,402,928	2,446,767
資産合計	6,317,345	6,516,737

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	569,909	652,608
短期借入金	300,000	380,000
リース債務	7,961	6,525
未払金	898,777	953,275
未払消費税等	321,859	210,432
未払法人税等	172,357	63,424
賞与引当金	169,129	112,889
役員賞与引当金	14,761	6,900
その他	388,459	440,972
流動負債合計	2,843,214	2,827,028
固定負債		
リース債務	6,098	1,572
繰延税金負債	8,595	13,954
退職給付に係る負債	344,604	324,211
株式給付引当金	5,785	5,308
長期末払金	10,567	8,767
資産除去債務	8,164	8,212
その他	500	500
固定負債合計	384,316	362,526
負債合計	3,227,531	3,189,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	272,046	257,975
利益剰余金	2,384,491	2,566,485
自己株式	△177,527	△158,493
株主資本合計	2,872,572	3,059,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217,241	267,652
その他の包括利益累計額合計	217,241	267,652
純資産合計	3,089,813	3,327,182
負債純資産合計	6,317,345	6,516,737

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	14,447,612	15,337,315
売上原価	11,990,715	12,901,698
売上総利益	2,456,896	2,435,617
販売費及び一般管理費	1,843,144	1,822,099
営業利益	613,752	613,517
営業外収益		
受取利息	1,426	1,409
受取配当金	11,841	15,706
受取賃貸料	4,865	6,038
雇用調整助成金	6,808	—
その他	12,547	10,296
営業外収益合計	37,490	33,451
営業外費用		
支払利息	8,885	8,303
支払手数料	1,184	3,522
為替差損	3,001	5,940
雑損失	1,279	3,485
営業外費用合計	14,350	21,252
経常利益	636,891	625,716
特別利益		
投資有価証券売却益	—	41,374
特別利益合計	—	41,374
特別損失		
固定資産売却損	—	519
固定資産除却損	46	42
特別損失合計	46	561
税金等調整前四半期純利益	636,845	666,528
法人税、住民税及び事業税	210,766	202,859
法人税等調整額	56,771	53,542
法人税等合計	267,538	256,401
四半期純利益	369,306	410,127
親会社株主に帰属する四半期純利益	369,306	410,127

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	369,306	410,127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,240	50,411
その他の包括利益合計	56,240	50,411
四半期包括利益	425,547	460,538
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	425,547	460,538
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(会計方針の変更に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	7,071,184	3,346,161	4,021,728	14,439,074	8,538	14,447,612	—	14,447,612
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	14,958	512	4,137	19,608	232,515	252,123	△252,123	—
計	7,086,142	3,346,674	4,025,865	14,458,682	241,053	14,699,735	△252,123	14,447,612
セグメント利益	518,739	88,780	185,771	793,291	23,192	816,484	△202,731	613,752

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△202,731千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	スチュワード 事業	フード サービス 事業	空間 プロデュース 事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	7,355,377	3,882,055	4,091,901	15,329,335	7,980	15,337,315	—	15,337,315
(2)セグメント 間の内部売上高 又は振替高	3,958	1,553	3,245	8,756	254,515	263,271	△263,271	—
計	7,359,335	3,883,609	4,095,147	15,338,092	262,495	15,600,587	△263,271	15,337,315
セグメント利益	579,498	39,307	196,518	815,324	△1,116	814,207	△200,690	613,517

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、総務・人事・経理管理事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△200,690千円は、全社利益及びセグメント間取引消去等の額によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	53,972千円	54,156千円
のれんの償却額	4,792	4,792

(重要な後発事象)

該当事項はありません。